

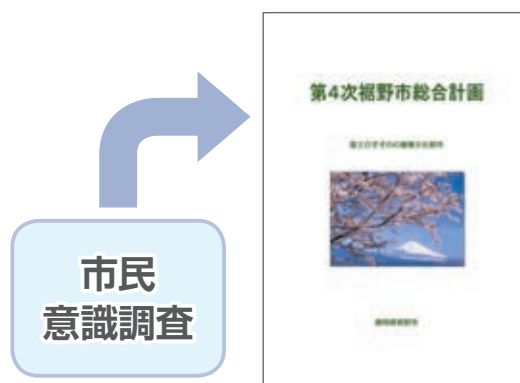
市の政策への満足度は平年並 市民意識調査

市民意識調査は、市民の皆さんの市政に対する認識や希望、市民生活に関する意識を調査するために平成16年度から毎年実施しています。市民の皆さんの市総合計画施策の進行度合いへの評価や、各種事務事業を実施することへの認識を調査し、その結果はさまざまな分野で幅広く利用されます。

市民意識調査報告書全編をご希望の場合は、市役所3階企画政策課、1階情報公開コーナー、各支所、図書館、市公式ウェブサイトでご覧いただけます。

●市公式ウェブサイト・統計情報

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/ma/si/isikihou-26.php>



市民 意識調査

市民意識調査は総合計画へのチェックなどのほか、行政施策推進のため幅広く利用されます。

調査概要

1. 調査の目的

今年度の市民の皆さんの市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、諸施策推進のための基礎資料を得ること。

2. 調査対象

20歳以上の市民から無作為に抽出した1,000人

3. 調査期間

8月26日～9月10日

4. 調査方法

郵送配布、郵送回収（留置記入方式）

5. 回収状況

配布数	有効回収数	有効回収率(25年度調査)
1,000票	546票	54.6%(58.3%)

調査結果

満足・重要度

現状の評価と重要度を次の表に示すように点数化し、その程度を分析しました。

現状の評価基準

項目	点数
満足	2点
まあ満足	1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の評価基準

項目	点数
とても重要	2点
重要	1点
それほどでもない	0点

①お住まいの周辺環境

質問▶お住まいの周辺環境についてどの程度満足していますか。近隣市町の公共施設や商業施設、医療機関などの利用しやすさなども含めてお答えください。またそのことは重要であると思いますか。

■満足度ベスト3

順位	事業名	得点
1	身近にすんでいる外国人とのトラブルの少なさ	0.51
2	不安のない消防体制と救急体制の充実	0.31
3	空気や河川の水のきれいさ	0.30

■重要度ベスト3

順位	事業名	得点
1	必要な時に適切な医療が受けられる環境	1.69
2	地震災害に強いまちづくり	1.53
3	犯罪のおきにくい安心なまちづくり	1.49

■満足度が低く重要度が高い項目

今後、重点課題として検討が必要な項目です。

順位	事業名	満足度	重要度	点数差(※)
1	鉄道やバスの便利さ	-0.88	1.14	-2.02
2	道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況	-0.63	1.28	-1.91
3	地震災害に強いまちづくり	-0.24	1.53	-1.77



◆現状の満足度と重要度の差が大きいのは鉄道やバスの便利さや道路網の便利さや快適さと歩道の整備状況、地震災害に強いまちづくりとなっています。この3つの項目は平成23年度調査から継続して満足度が低く、重要度が高い項目であり、検討する必要があります。

※点数差＝満足度－重要度

満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く、重要度が高い、今後の重点課題として検討が必要なものを数値化したもの。

②市の取組

質問▶市が行っている取組について、あなたはどの程度満足していますか。また、その取組は重要であると思いますか。

■満足度ベスト3

順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	0.55
2	リサイクルやごみの減量化等環境に配慮した取り組み	0.12
3	市の行う広報(広報紙・無線、報道など)の「わかりやすさ」や「情報の量」	0.03

■重要度ベスト3

順位	事業名	得点
1	豊かで良質な水道水の確保	1.49
2	市の「予算の使い方」などの財政的運営の効率化	1.41
3	安心して子育てができる環境の充実	1.39

■満足度が低く重要度が高い項目

今後、重点課題として検討が必要な項目です。

順位	事業名	満足度	重要度	点数差(※)
1	市の「予算の使い方」などの財政運営の効率化	-0.52	1.41	-1.93
2	市内の土地利用のバランスの良さ	-0.72	1.15	-1.87
3	にぎわいのある商業地づくりと、すそのブランドの利用促進	-0.56	1.10	-1.66

◆満足度と重要度の差が大きいのは市の予算の使い方などの財政運営の効率化や市内の土地利用のバランスの良さ、にぎわいある商業地づくりとすそのブランドの利用促進となっています。1位、2位の項目は平成23年度の調査から挙がっていて、重要課題として検討する必要がある項目です。

③市の政策に関する満足度

質問▶市の政策全体について、どのように感じていますか。

◆「満足している」と「まあ満足している」を合わせた割合は22.1%、「やや不満である」と「不満である」をあわせた割合は30.0%で、満足よりも不満がやや高い状況です。

◆満足度は、平成24年度に一度増加したものの、平成22年度からは減少傾向にあります。

◆不満度は、平成22年度より2割程度で推移していましたが、今回は3割を占めています。

